



申1号「駅体制の見直しについて」に関する申し入れ提出！ 高萩駅みどりの窓口営業終了 原ノ町駅臨時窓口化

JR東労組水戸地本は2023年6月に駅体制の見直しについて提案を受けました。提案では、効率的な業務執行体制を構築し、生産性の向上を図り、経営体質の抜本的強化に取り組むため、駅体制の見直しを実施するとしています。

今回の提案では、高萩駅のみどりの窓口営業終了に伴い、話せる指定席券売機を導入することが示されました。また、7月1日より原ノ町駅の臨時窓口化も同時に示されました。この間、今後の販売体制について労使議論を積み重ねてきましたが、組合員・社員への負担が増し、お客さまサービス低下に繋がる等、窓口終了による弊害が起きています。

従って、本施策を組合員・社員が安全で働きやすい職場をめざし、お客さまサービスを低下させない施策とするために、下記の通り申し入れを提出しました。要求を実現させるために、団体交渉に臨みます。

要求項目

- ①今施策の目的を明らかにし、安全で働きやすい職場環境を構築すること。
- ②みどりの窓口販売体制について、今後のお客さまサービスを低下させない対策を明らかにすること。
- ③みどりの窓口減少に伴い、指定席券売機でクレジットカードで購入した乗車券類の払い戻しが出来るように改修すること。
- ④みどりの窓口減少に伴い、指定席券売機で大人の休日倶楽部やジパング倶楽部割引が適用される普通列車グリーン券を発売出来るように改修すること。
- ⑤みどりの窓口減少に伴い指定席券売機や話せる指定席券売機でルール&レンタカーの発券を出来るように改修すること。また、ルール&レンタカーの販売について、簡素化すること。
- ⑥窓口精算機や自動精算機等、クレジットカードを使用できるように改修を行うこと。
- ⑦みどりの窓口減少に伴い、Suica等の再発行について、郵送での受け取り、Webやコンビニ決済できるようにすること。
- ⑧高萩駅のお客さまサポートコールシステム稼働時間帯における不正乗車防止対策を明らかにすること。
- ⑨原ノ町駅臨時窓口化を行う目的を明らかにすること。また、臨機応変に対応出来る体制を構築し、お客さまのサービスを低下させない施策とすること。
- ⑩組合員・社員が不安なく安心して働くために、教育・訓練等は事前に行い、働きがいを持てる施策とすること。
- ⑪本施策に伴う異動が発生する場合、ジョブローテーションの趣旨に則り、本人希望を尊重すること。

働きやすい職場環境を実現するため、団体交渉に臨みます！